

卓話講師：荏原税務署 署長 三國谷 嘉晃 様

卓話演題：税の使われ方～日本の財政と予算～

(一社)しながわシティスポーツクラブ東京プロバスケットボール(株)球団社長 沢田 洋和 様



「しながわシティスポーツクラブと地域・企業との連携について」 2月5日

私は品川区生まれ、品川区育ち、大学を卒業後、国会議員秘書、品川区議会議員を三期務め、都議会議員を志しておりました。2022年から仲間とともに(一社)しながわシティスポーツクラブ 東京プロバスケットボールクラブ(株)を立ち上げまして球団社長を務めています。好きな言葉は「初志貫徹」「不撓不屈」「忘己利他」政治家時代からずっとこの言葉を大事にしてきました。私は自分が生まれ育った品川という地域が大好きです。政治からは離れましたが、人の為に、子供達が夢と希望を持てる街品川へ、という思いで活

動しております。

私達は品川がホームのプロスポーツクラブとして、バスケットボールとフットサルのチームを運営しています。日本全国でも品川という地名を知らない方はいらっしゃらないと思います。新幹線の駅ですし、いよいよリニアの駅にもなりますので、私達はあえて「品川」という名前にこだわってスポーツチームを作りました。今、Bリーグも話題になっていますが、日本においてバスケットボールは野球、サッカーにつぐ第3のスポーツとして盛り上がってきています。競技人口は非常に多く、SNSのフォロワー数も年々増加しています。

フットサルクラブに関してはFリーグというものがあましてF1 トップリーグに所属、現在2位ですので、もしかしたら日本一になれるかもしれないような状況です。私達の力不足でもあると思いますが、日本で一番強いチームが品川区にあるということは、まだ知られていないかと思えます。



年間の試合数ですが、バスケは年間52試合あります。現在B3に所属していますが、そのうちホームでの試合が26試合です。開催場所としては品川区だけでは難しいので駒沢体育館、目黒区、中央区、日体大のキャンパスもお借りしています。試合はネットでライブ中継されており、非常に人気があります。こういったものをご覧いただき、ファン、地域、選手と子供、パートナークラブとして地域から愛されるクラブにしたいということで進んできました。

これまでの取り組み例としては、スペシャルオリンピックスという知的障がい者と健常者が一緒にバスケットボールをおこなうイベントがあります。プロの選手とともにプロバスケの前座の試合を行いました。地域貢献ということでは品川区のみならず近隣の区でも試合を行っていますし、品川区から委託事業を受けて子供向けのバスケットボール教室、フットサル教室を年に6回ほど開催しています。プロ選手が無料で教えてくれるということで、多くの方々に申し込みいただきまして、お陰様で毎回5倍ほどの人気っぷりです。学校との連携といたしましては、産能大学、日体大のキャンパス内で試合を行う際には、マネジメント学部のゼミ授業の一環として、我々の試合を組み立てるといったことが行われています。

企業との取り組みといたしましては、社内エンゲージメントの向上に活用していただく、イベントに選手を呼んでいただくことで企業のイメージアップを図る、採用活動に選手を使っていただく、選手がSNSで発信することで企業のブランディング、イメージ戦略に結び付ける、学生に関心をもっていただくことが採用活動に結びつくのではないかと応援していただいています。他に広告の企業様のメリットとしては、ユニフォームに企業名を掲載するなどもあります。私達の収入のほとんどはスポンサー収入でして、多くのスポンサー企業の皆様にご支援いただいております。

地域の子供達に夢と感動、希望を与えられるのはスポーツだと感じています。政治をとおして子供達に夢と感動をと思って参りましたが、現在はリアルな現場から子供達に多くの可能性を与えられるスポーツチームにしていきたいというのが思いです。発足してまだ5年ということで、我々の努力不足でまだまだ認知されていない状況ではありますが、これからより多くの人に支援していただけるスポーツチームにしていきたいと考えています。最後に、「スポーツは美しい」ということで締めくくらせていただきます。



